

2025 年度

法学研究科博士課程 前期課程 入学試験

受験番号

## 試験問題

科目名 「 政治過程論 」

2025 年 2 月施行  
立教大学大学院

- ・ 試験時間 100 分
- ・ 答案は横書（ペンまたはボールペンを使用のこと）
- ・ 問題用紙は試験終了後係員に渡すこと
- ・ 試験中、答案用紙を追加で補充することはしないので、配布された答案用紙の範囲内で解答すること

第1問 政治学における集合行為問題の概念とその解決方法について、具体例を用いて説明しなさい。(40 点)

第2問 1994 年の選挙制度改革により、衆議院議員選挙制度は「中選挙区制（単記非移譲式投票）」から小選挙区比例代表並立制へと変更された。「中選挙区制」と小選挙区比例代表並立制の特徴を比較しながら、この制度変更が有権者、政治家、政党、利益団体のそれぞれに対してどのような影響を与えたのか、具体例を挙げて論じなさい。(60 点)